

TOWN



LED照明によって夜空の下に広がった「お花畑」

神様夫妻の出逢いの地

9/25 愛宕山で神話の光アート展

延岡

国文祭・芸文祭みやざき2020の分野別「エステイバル」出逢いの聖地の「お花畑」の「神話の光アート展」が、延岡市の愛宕山(宮崎)の(御崎)公園の屋敷敷地で行われている。同祭りが閉会する10月17日まで、毎日午後6〜10時に点灯される。

夜だけの展示会 10月17日まで

同所の古名は「縁山」であり、天孫三吉(ニギハヤヒ)が妻の「コノハナサケヒメ」と出



国文祭・芸文祭みやざき2020 2021/7/3 ▶ 10/17

会った「縁の神」は「いづみのかしわ」と言われ、近年は出逢いの聖地として親しまれ、カップルのための鍵掛けポイントでも設置されている。

アート展では、屋敷敷地の入口周辺にLED照明を使って、お花畑を再現。同所在の「エストレター」

みやざきみやざきが手掛けたエントラを拡大し、書光材装飾を施した大型パネルが設置されており、夜間でも楽しむことができる。

最初の口陣口(くちま)は、家族連れやカップルが次々と訪れ、きれいな歌声を上げて、「お花畑」の風を駆け回る子どもやスマートフォンで撮影を楽しむ姿が見られた。

また、屋敷敷地の壁面には、みやざきみやざき2020の「エストレター」

又の「出逢い」を紙芝居風に解説したパネルも展示されており、期間中は観覧できる。同祭延岡市実行委員会は、マスクを着用し、他の人と十分な距離を確保して鑑賞することなど、感染症対策を呼び掛けている。